



* 今月の花
センシチロウ

声 明

日本政府は武力により他国を
占領した過去を持つ国として
イスラエルにガザ武力侵攻の停
止・停戦を求めよ!

二〇二三年十一月十五日

日朝協会執行役員会

イスラエルによるパレス

チナ自治区ガザへの大規模な
空爆と地上侵攻が続いてい
る。ガザ地区ではすでに一万
人以上が殺され、そのうち四
千人以上が子どもだとされ
る。ガザ住民の二〇〇人に一
人が命を落とす異常な事態と
なっている。グテレス国連事
務総長は「国際人道法違反だ」
とイスラエルを厳しく批判し
ている。

イスラム武装勢力ハマスに
よるイスラエルの市民への攻
撃や人質略取は国際法違反で
あり、人質は直ちに解放すべ
きだが、イスラエルは「自衛」
の名目でガザ地区へ大規模な
空爆を行い、地上軍を侵攻さ
せ、パレスチナ人のジェノサ

イドを実行している。

先のG7外相会合ではイス
ラエルの攻撃を「自国及び自
国民を守る」ためだとして擁
護し、ガザ侵攻の停戦を求め
ていない。日本政府は十月二
七日の国連総会で採択された
ガザ地区での「敵対行為の停
止につながる人道的休戦」を
求める決議に棄権するという
態度をとり、その後の国会答
弁でも首相や閣僚は停戦・休
戦を求める姿勢を見せていな
い。

日本は朝鮮を植民地化する
過程で、独立運動や抵抗活動
を徹底的に弾圧し、東学農民
や義兵闘争に対してジェノサ
イドを実行した。戦後日本は

平和憲法を制定し、「戦争し
ない国」として国際社会に名
誉ある地位を占めるよう努め
てきた。イスラエルは一九六
七年以来ガザ地区やヨルダン
川西岸地区を占領し、その下
でパレスチナの人々は非人道
的な生活を強いられ、ガザは
「天井のない監獄」とさえ呼
ばれている。このような武力
による占領支配は、一〇〇年
前の軍国日本が歩んだ道であ
り、決して許されない。

憲法により武力の行使を放
棄している日本政府は、イス
ラエルの国際法違反のガザ地
区への攻撃を強く非難すべき
だ。イスラエルとハマスにた
だちに停戦を求める立場に立
ち、殺戮をやめさせるよう働
きかけなくてはならない。

私たちは国際法に依拠し
て、「戦争やめよ」「殺戮する
な」の声を大きくし、国内・
国際世論でイスラエルによる
ジェノサイドをやめさせ、イ
スラエル軍による空爆と地上
作戦を停止することを強く呼
びかける。

【3頁よりの続き】

も呼ばれている) (図⑧) の
鋳型製法であれば、十倍以上
の鋳上がりが出来、その技術
も伝授された記録もあり、鉄
銭発行となったと思います。

まず試作品が作られたと思
いますが、その品が、王や高
官が手にすることは分かっ
ていますから、美しく磨き上げ
られ、漆(うるし)で色揚げ
された物が出されたと思いま
す。当然のことながら、銅銭
以上の出来と賞賛されたこと
でしょう。そして大量生産に
移ったと思いますが、大量発
行ともなれば、粗製濫造とも
なり、欠点の目立つ物となり、
中絶となったと思います。

終わりに、宗主国の銭貨の
国外持ち出し禁止が、高麗の
鉄銭発行のもととなったこと
が、私の持論であります。

【参考文献】『古銭大鑑』大

文館、『歴代古銭図説』台湾
・台北十福社、『コインの歴
史』造幣局・創元社、『貨幣
の日本史』朝日新聞社、『貨
幣の歴史』原書房、『錢躍る
東シナ海』講談社、『宋銭の
世界』勉誠出版、『渡来銭の
社会史』中央公論社、『貨幣』
創元社

続・朝鮮貨幣史小考

高麗が鉄銭に踏み切った事情

山崎 眞臣

なぜ、続編を書かなければならぬのか、そのことを、まず説明します。

朝鮮半島で最初に発行された鉄銭が鉄銭であったことが原因でした。最初に「高麗国」が国威発揚のために、自国通貨の発行を行ったのではないかと考えたのですが、その為なら、少々無理をしても銅銭で出すべきでなかったか？ 何か、鉄銭で出さねばならない理由が有ったのではないかと？

そんな思いが強くなったので、再調査を行って見た結果、次のような、当時の情景が浮かんできましたので、私論となりませんが、その事を述べてみたいと思います。

朝鮮の最初の公鑄銭の発行は成宗十五(九九六)年でした。その時の宗主国は宋で、

最初に出した銅銭は「宋通元寶」(図①)で、宋・太祖の開宝元(九六八)年でした。並行するようにして鉄銭(図②)も発行され、続くようにして「交子」と呼ばれる紙幣も発行されました。世界で最初の紙幣です。

この様に、宋は建国早々、経済政策に重点をおき、良質な銅銭だったため、内外の信用も大きく、潤沢な資金のもと、大国にと成長して行きました。その事を物語る様に、アジア州の西はアフリカ東海岸、東は南洋諸島にまで持ち運ばれたことが、各地の発掘品の中に、宋銭が見出されて、分かります。

高麗で乾元重寶が発行された頃、安南(今のベトナム)や周辺諸国での銅銭発行も目

図①



図②



図③



図④



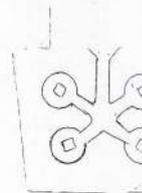
図⑤



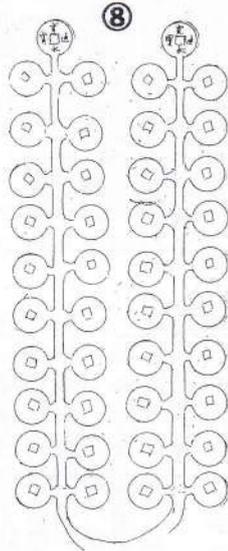
図⑥



図⑦



図⑧



立ちます。

安南の初鑄が大平年間(九六八〜九七五)で宋の初鑄と同じ頃でした。(図③)そして十年後に(図④)の「天福鎮寶」の「天福鎮寶」も発行されています。

宋は宋銭を自国通貨同様に使っている周辺諸国に対し、その事を禁じ、自国での通貨発行を促す指示か命令を

行っただけではないでしょうか？

安南だけでなく、その周辺でも同じことが起きていました。(図⑤)(図⑥)

高麗が鉄銭に踏み切ったきっかけは、宋で鑄造法に新しい改革があり、それまで数個しか鑄造できなかったものが(図⑦)、葉銭(枝銭と【2頁下段に続く】



鑑賞のおすすめ



【その90】

韓国映画 (2021年)
『モガディシュ』
脱出までの14日間
監督：ホン・ウォンチャン

伊藤 一郎

(koreamovieculture@yahoo.co.jp)

朝鮮文化を知る会

南北の人々の心情細かく 和解と妥協 ケンニプ食事のように

(えこま料理)

本作品は二〇二一年に韓国で公開された。日本での公開は、約一年後の二〇二二年であつた。コロナ危機の最中で、韓国であつたにも関わらず、No.1の大ヒットを記録した。のあらすじは以下のとおり。

映画の舞台は一九九〇年のソマリアの首都モガディシユ。駐ソマリア韓国大使のハリンは国連加盟を目指してアフリカ諸国へのロビー活動をアフリカ大使の一方で、駐ソマリア朝鮮大使のロビーも、同様のロビー活動を行つていた。朝鮮側が韓国側のロビー活動を妨害し、南北双方の不信感が根強く、対立は収まりそうになかつた。その後、南北双方の情報が操作がエスカレートしていき、南北朝鮮の大使双方が、ソマリアの外交当局者と面談し、双方を罵りあつている。最終に、突如、事件が発生する。ソマリアの現政権に不満を持つ反乱軍による内戦が勃発したのである。首都は大混乱に陥り、街では商店が暴徒による略奪の被害にあふ。また、ほとんどの現政権の手下として各国の大使館が焼き討ちにあふ。朝鮮大使館員とその家族は、暴徒の襲撃を受けて大

使館を追われる。リムたちは、中国大使館に逃げ込もうとするが、そこもすでに同じような状況になつていた。リムは、状況をリムは韓国大使館に助けを求め、リムが韓国大使館に入つた朝鮮大使館員と、その家族の様子を、リムが大使館に知らせる。リムは、脱出の目的を、一時の目的のためには、一方は、双方の不信感の消え、相互の知恵を出しながら、国際脱出を試みる。

映画では、韓国大使館での南北双方の人々の心情が細かく描かれていく。韓国大使館が用意した食事を、最初は朝鮮大使館員とその家族は警戒して口にしない。韓国大使が自ら、食事と朝鮮大使の食事をあえて交換して食べて見せて、初めて双方の食事が始まった。双方は譲り合い、またケンニプ(エゴマの葉)のしやうゆ漬を食する際には、一方が一つの葉を箸で固定し、他方が箸がくっついていない葉を握るなど、描写がとて細か(朝鮮人の一般家庭でケンニプを食べる際に、この共同作業がしばしば見られる。)

朝鮮民主主義人民共和国
ピョンヤンからの
通信



【編集者まえがき】本欄は、我が国とは未国交状態にある朝鮮民主主義人民共和国の立場や日朝関係をきむ諸見解を理解できるように、同国の対外文化連絡協会（ピョンヤン）を通じて日朝協会愛知県連（名古屋）に直接送られる情報・資料をそのまま紹介する欄です。

友人のみなさんへ 「国連軍司令部」構成国 国防省会議の不当な動き と関連して

朝鮮平和擁護全国民族委員会

親愛な友人のみなさん。
朝鮮平和擁護全国民族委員会より温かいあいさつを送ります。

当委員会は、アメリカとか
いらい軍部の関係者が十一月
十四日、かいらい地域で第一
回かいらい「国連軍司令部」
構成国国防当局者会議を開こ
うとしているのに関連して、
この書簡を送ります。

米国防長官のコントロール
の下に開かれるこの度の会議
では朝鮮半島有事の際、「国
連軍司令部」構成国の対応意

志を示した「共同宣言」が採
択されるそうです。

すでに数十年前に解散され
るべきであった「国連軍司令
部」が今日、みずからの侵略
の性格をまたもや露にしなが
ら第二の朝鮮戦争を仮想した
対決宣言を作り出そうとして
いることはアメリカとその追
随勢力によって朝鮮半島の安
保地形が戦争指向的な構図へ
傾斜しているというのを実証
しています。

「国連軍司令部」は一九五
〇年代の朝鮮戦争の時期、よ

【朝鮮民主主義人民共和国
ピョンヤン 2023年11月14日】
原文／日本語

一九五〇年六月二九日、七
月六日、ソ連政府は国連安全
保障理事会に書簡を送り、国
連憲章に反して常任理事国で
あるソ連と中国の支持なしに
採択された決議は無効である
というのを強調しました。

一九五〇年当時、アメリカ
の指揮下にあった「連合司令
部」の名称が「国連軍司令部」
に衣替えしたのも一九五〇年
七月二五日、アメリカが国連
安全保障理事会に「連合司令
部」の活動に関する報告書を
提出しながら「連合司令部」
の名称をかつてに「国連軍司
司令部」と書き換えたのに原因
があります。

ソ連が国連安全保障理事会
の活動に復帰してから一九五
一年一月三一日、国連安全保
障理事会で一九五〇年六月二
五日、アメリカが上程させた
「大韓民国に対する侵略に関
する提訴」の件を削除する決
議第90号が採択されたこと
は朝鮮戦争に多国籍武力を動
員した事実自体が誤謬（ごび
ゆう）であったというのを国

り多くの侵略武力を朝鮮戦線
に投入するためにアメリカが
でっち上げた不法な戦争機構
であり、国連とは何の関係も
ないアメリカの対決機構で
す。
当時、アメリカは国連で中
国の代表権を台湾が行使して
いるのに対する抗議として旧
ソ連が国連安全保障理事会の
会議に参加していない隙を悪
用して朝鮮民主主義人民共和
国を「侵略者」に仕立てた国
連安全保障理事会決議第82
号を作り上げました。

連がおのずとは認めたことになりません。

一九九四年六月二十四日、ガリ国連事務総長は「連合司令部は国連安全保障理事会が自分の統制下の付属機構として設けたのではなく、それはアメリカの指揮下にある。」と認めました。

一九九八年十二月二日、アナソ国連事務総長もアメリカが朝鮮戦争に派遣した武力やその司令部について「私の前任者の内、誰一人も国連の名と結び付けるようなどの国にも許諾したことがない。」と言ったのははじめ、その後も複数の国連関係者が「国連軍司令部は国連の組織ではなく、国連の指揮や統制の下にあるのではない。」と重ねて強調しました。

諸般の事実はアメリカが国連の名を盗用して朝鮮民主主義人民共和国に反対する侵略戦争を「合法化」しようとしたことを示しており、これは国連憲章を含めた国際法に対

する乱暴な違反でありすべての国連の加盟国に対する破廉恥な冒瀆となります。

「国連軍司令部」は国連総会の決議によりすでに数十年前に解体されるべきであった不法な機構です。

一九七五年十一月十八日、国連総会第30回全員会議では「国連軍司令部」を解体し、かいらい地域を占領した米軍を撤収させるという二件の決議が同時に採択されました。

決議第3390 B号は国連の進歩的加盟国が発起した案として「国連軍司令部」を無条件、即時解体し、かいらい地域からすべての外国軍隊を撤収させる内容になっており、第3390 A号はアメリカの提案として停戦協定を維持するための代替のシステムが整備されれば一九七六年一月一日から「国連軍司令部」を解体し、かいらい地域駐屯米軍を撤収させるという内容でした。

当時アメリカが条件付きではありませんが「国連軍司令部」の解体と米軍の撤収意向を示したのは「国連軍司令部」の即時解体を避けるための窮余の一策にすぎませんでした。が、これは明白にアメリカとしても「国連軍司令部」は解体されるべき存在であるということを否認できなかったというのを実証しています。

にもかかわらず「国連軍司令部」が数十年間も温存し、今日に至ってはアメリカ主導の多国籍戦争道具として復活しているのは朝鮮半島を含めたアジア太平洋地域の安全を危うくする憂慮すべき事態であると云わざるをえません。

とりわけ、アメリカとかいらい一味が朝鮮半島地域に核戦略資産を次々と持ち込みながら侵略的性格の大規模合同軍事演習を行っているのと時を同じくして「国連軍司令部」構成国の国防当局者が朝鮮半島有事を既定事実化した共同対応について論ずると言うのは朝鮮民主主義人民共和国に

反対する新たな侵略戦争を挑発しようとする危険極まりない企みであります。

国際社会は朝鮮半島と地域に新たな戦争の火種をくすぶらせようとするアメリカと追随勢力の軍事的動きに警戒心を高め、これを断固糾弾、排撃し核戦争の惨禍から世界を守るべきであります。

不法で侵略的な「国連軍司令部」は遅滞することなく解体されなければならないし、これは国連の権威と公正さを回復し、朝鮮半島の平和と安定を図るための必須の第一義的な要求であります。

われわれはこの機会に正義と平和を尊ぶみなさんが今の朝鮮半島の情勢を緊張状態へと追い込んでいるアメリカと追隨勢力の無分別な対決妄動に反対する多様な連対活動を積極的に繰り広げて強固な平和と安定を成し遂げるための朝鮮人民の偉業に支持、声援を寄せてくださることを確信します。

歴史の心

第9講 須恵器、青磁、白磁、伊万里

金 宗 鎮

家の応接間に数十点の青磁、白磁の現代物が並ぶ。ピョんヤンの『創作社』の作品だ。

そして一点、本物の高麗茶碗が、まじる。いびつな姿の雑器だが、九〇〇年前の代物だ。本稿では、東アジアの大いなる陶磁器圏にふれてみる。

有田港から海外へ輸出された伊万里は、世界最高レベルの磁器として評価を得ている。オランダ連合東インド会社が、(中国)明・清の交代期の混乱から、景德鎮の磁器を輸入することが不可能になり、その代わりを伊万里が果たしている。

明、朝鮮、日本の磁器は世界に冠たる地位にあった。東アジア陶磁器は、ヨーロッパの一九世紀から製磁を促すことになった。

1 朝鮮の陶磁の歴史

△ 朝鮮の土器は新石器の刻文(楡目)土器から始まる。「この文化遺跡は、こんにちの朝鮮を中心として、西は遼河流域、東は沿海州、北は

松花江流域に至る広い地域に数多く分布しており・・・黄河流域の文化やシベリア地方の文化とは明らかに区別される」(『朝鮮史』朝鮮大学校歴史研究室)。

最近、古朝鮮のやきものが人骨とともに発見され、四、四〇〇年前のものだと判明した。組成を分析したところ、長石、白土、石英を主とする。

△ その後の高句麗の紀元前後の陶器は黒色、褐色をなし、三、四世紀に灰色になり、六、七世紀に釉をぬつた黄色、黄褐色のものがある。

「日本やきもの史」(美術出版社)は「漢の灰陶には全く自然釉がないのに伽耶、新羅、百済の灰陶には自然釉がしばしばかかっている。自然釉は一二〇〇度の高温が必要であるばかりか、粘土のなかの硫酸分の比率が高くなるとすれば、その技術が謎だ」という。また、朝鮮では「高脚をつけ透彫りの文様を加え、あるいは人物や動物を貼りつけた」としている。朝鮮

の独歩の高い技術に戸惑っている。「日本やもの史」は新羅に三彩磁器があったことを記している。

△新羅の次の時代の高麗青磁について、すでに述べたが、今少し補う。

一〇から一二世紀には主に青磁、象嵌、白磁が生産された。一三世紀以後からは絵画的装飾法が多く導入され、黒磁、画金から粉粧磁器、印花磁器へとなる。

高麗青色は宋の秘色に対し、翡色と呼ばれた。高麗の文人たちは「葵玉の光」「玲瓏なる水晶の姿なり」「人の肌のごとく」「青のひかる玉は青い空に映り」と讃じた。

『朝鮮陶磁の鑑定と鑑賞』(金園社)の評を加える。

「どこか、朝鮮民族らしい、何のこだわりもない、素朴さに加えて、静粛な感じのする作品です」。

「中国青磁と高麗青磁とでは、一味も二味違った作品が出来あがっています。例えば、中国の青磁の造り込みは、重厚で形が正しく厳肅で、ゆる

ぎない高貴な品格を備えた堂々たる名器ですが、高麗青磁は澄みきった冷たい静肃感と、貴族的な幽寂な美に加え、釉調や造形美、あるいはその線彫や象嵌などの技巧のよさに魅力を強く感じる作品です。「この象嵌青磁の技法は、先進国であり、青磁の本場である中国にも類例のない、朝鮮民族独特の巧妙精細な、世界に誇り得る名品です」。

「文様や細工のよさが、人々の心に非常な感銘を与えているわけです」。

高麗磁器の普及は広く、王室用に各道から八千点もの献上がなされた。十一世紀の平民の墓から一〇〇余点も出土している。

△朝鮮史に大転機が起きた
一三九二年の李氏朝鮮王国の建国である。

仏教は国家理念としての地位を失い、新たに新儒学・朱子学が国家理念となる。

一言で云えば、世界の起源を「無極」(理と気)とする哲学をもって、その地位を確

立した。仏教の「来世」(神仏)に対し、「現世」のみを主張し、「排仏崇儒」をもたらしした。朝鮮時代からは白磁が主流になり、民の需要の増大にも応えた。

文人が政権の柱となり、質素を貴ぶ、美意識に応えた。

李氏王室は白磁を尊び、白色の地はだの美しさを大切にしたい。十四世紀、白磁が主流になり、粉粧磁器が生産され、次第に青花白磁にひろがった。初期の粉粧磁器(粉青)は器の表面を白土で化粧し、さらに灰青色のうわぐすりをかけて焼いた。(日本では「三島」と呼ぶ) 次期の白磁青花は、白磁に酸化コバルトの鉄釉で絵付したものである。(日本では「李朝染付け」と呼ぶ)

白磁青花はね品種が多く、生活必需となる。家庭儀礼に使われた。形が実用的で、すつきりとして軽やかである。色が清らかで鮮やかである。白地は真つ白でなく、あたたかい白色であり、そこに青色文様の自然らしく染め付けられている。菊、蘭、桔梗など

が流れるように、軽妙に、あつさりりと品よく描かれている。(日本では「秋草手」と呼ばれる)

長生を願う「十長生」や「四君子」の文様も多く用いる。

李朝磁器の成功は、その人々の芸術的才能と彼らの生活風習、民族的情緒の結晶であった。

2 日本のやきもの

日本の陶磁器の発展はめざましい。

その素地は弥生人の生地であり、続いて技術としての須恵器の登り窯の伝来にあるようだ。高校「日本史」にその伝来が明記されている。

「五世紀には、朝鮮半島から渡来した工人によって、硬質で灰色の須恵器の生産が始まり、それ以後、平安時代まで両者は併用された」(山川出版社)。

「窯で焼きあげる朝鮮渡来の技術による硬質で灰色の須恵器が作られるようになった」(三省堂)。

「・・・鉄器、須恵器の生産、機織り、金属工芸、土木などの諸技術が、主として朝

鮮半島からやって来た渡来人たちによって伝えられた」(山川出版社)。

登り窯と轆轤の技術を知り、往来と交流を通じて、日本は朝鮮のやきもの事情を深く理解した。日本のやきものへの強い志向こそ、有田焼を創らせたことになる。

須恵器と有田の二つの座標点が日本のやきものを中国、朝鮮と共に東アジアのやきもの圏を世界の頂点に立たせたと言える。高校「日本史」は次のように記述する。

「諸大名が朝鮮陶工を連れ帰ったことから、有田焼(鍋島氏)、薩摩焼(島津氏)、萩焼(毛利氏)などの窯業が各地におこった」(東京書籍)。

「戦争を通じて、朝鮮の典籍や活字印刷、窯業などの技術が、日本に伝えられたりした」(自由書房)。

「朝鮮からは仏像、金属活字などの文化財を略奪し、さらに製陶技術者、朱子学者をはじめ、数万の農民を強制的に日本へ連行した」(三省堂)。

記述なしも(山川出版社)。「茶席で用いられる茶碗も

朝鮮出兵のとき諸大名がつれてきた朝鮮陶工によって、有田焼、薩摩焼、萩焼、平戸焼などがはじめられ、風雅なおもむきをもつものが生み出された」(山川出版社)。

興味深いことは、以上の、日本の陶磁器文化圏の参入に関して、日本に二つの見解がある。

浅川巧は、「朝鮮陶磁名考」(一九三一年)で、「民族の盛んな時には自然によき物が生まれ、又、優れたものを生むときは、よき時代に來たらすことに関係のある様に思われる。朝鮮の過去には各時代とも世界を独歩し得る立派な陶磁器のあったことは事実である。焼物くらい世界に誇っても、くだらないと云う人があるかも知れないが、これは前に述べたように、全体が盛んでなくて、焼物のみがよくなることは出来ない筈であるので、それ等を生む尊い物の証拠となることは忘れてはならぬ」と述べている。
細井肇は「朝鮮文化史論」(一九一一年)で、「その政

治は娼婦の心術にちかく、その文学は模倣以外に独創の発明はなく、その信教は迷信の一途に限られ、・・・卑屈隠忍なる特性」と主張している。

東アジアの新しい磁器文化圏の形成の歴史を、歴史の心は知る。

※ ※ ※

磁器の心

李参平(有田)、忠清道金江に生まれ、その地名をもつて、金江三平と称したこともある。望郷の念を感じる。

沈当吉(薩摩)、慶尚北道青松の人である。十三代の沈寿官が青松を訪れる明治の時代まで、朝鮮語を話した。

八山(高取)、八山の十一代の静山は「朝鮮から連れられてきた八山が、どんなに故郷を恋うたかを思うと、それが可哀そうで」と述べている。

【閑話休題】

万両をもうけた松商

開城の松商の主人、見込みのある配下の若い商人に、二千両を与えて云う。

「これで商売をしてみろ」。

若い商人、ピョンヤンに妓生(キーセン)と遊びほうける。

やがて二千両を使い果たして、開京にもとるが、親方はだまって、新たに二千両を渡す。再びピョンヤンの妓生に遊び、使い果たす。妓生、あわれに思ってたか、「私の部屋の物の何かを持ち帰って」

と言う。

商人、白磁をもらい受ける。商人、倭館にとんで行き、倭人に一万両で売る。開城、松商の商才、ここにあり。

※ ※ ※

我が家の高麗茶碗を貸し出します。只々、九〇〇年の古さだけの茶碗ですが、お孫さんの手にふれさしたり、お茶なり、お酒なりを飲んでみませんか。(無料です)

~ごあいさい~

(ピースあいち) 第11回 奇贈品展

戦争が遺したモノたち

オープニングイベント
2023年12月5日(水)
11時~18時
FAX 052-602-4222

2023
12.5 (火)

2024
2.24 (土)

開催時間 11:00~18:00 (最終18:00まで)
休 日 日曜日、月曜日、年末年始
2023年12月23日(土)~2024年1月4日(木)
入 場 料 大人300円 小(4歳以下)100円

【開催場所】
浜市・平和公園 ピースあいち
〒465-0091 浜市東区平和公園1-1-1 FAX 052-602-4222

市バス・地下鉄でのおでかけが便利にお得です。
ドニキのきっぷが一日乗車券・24時間券
を利用してご来場の方は、入場料割引!

【入場料】(大人)300円~250円 (小(4歳以下))100円~80円

今年一〇月、鄭禧昇氏の招聘で韓国から来られた、通信使の末裔だという金スロンの偉大性について多くの事を学んだ。独創的な文字「訓民正音」は、朝鮮において創製された日、一月一日、韓国では頒布した日、一〇月九日を記念日として祝っている南北共通の祭日である「金スロン2022.531」。

名古屋の蓬左文庫には世宗の孫である、第六代国王端宗が四五年に金属活字で印刷させた『高麗史節要』全三巻三冊がこの世にたつた一部のみ完本(国宝級)で残っているという。晩年の徳川家康が学術文化の受容、振興に熱心で駿府に隠居していた、江戸城内に設立されていた

評 論

六〇〇年前の日朝関係と現在
李氏朝鮮時代と金正恩時代との比較

文 光 喜
愛知朝鮮学園理事長

た、文庫の旧蔵書や朝鮮の優れた金属活字印刷による書物など当時収集できる最高のものを集めたという。

世宗王は李氏朝鮮王朝の三代目である太宗の三男で金正恩国務委員長も三男である。お互いに長男、次男を差置いて国のトップになり、難局を乗り切っているところ。非常に興味を覚えた。儒教精神が濃厚な時代に太宗が慣習に従わず三男を後継者に任命したことは歴史的史実から確かな人材の抜擢であったと思える。

本稿は六〇〇年前世宗大王の功績から紐解き、今日の朝鮮の姿から日朝関係の今後を考察してみるものである。

一、世宗大王は朝鮮史

で傑出した指導者

(一) 李氏王朝の建国

片野次雄によると、李成桂(世宗の祖父)は五六〇余年の長期政権を築いた太祖である。武將李成桂は高麗末期一三九二年、元帝国の残党を討つために中国北東部へ向け高麗軍を出動させたが、途中で引き返し高麗王朝を転覆し壊滅させた。太祖はその後二七代にわたり長期政権を築き、二代目は次子の定宗を築代目の太宗は第五子で継いだ。が倭寇(ウヱグ)の度重なる侵略の暴虐には頭を痛めていた。「片野 2012:231」。

『太祖実録』には次の記録がある。「倭寇五百隻…、慶尚、

全羅、忠清に侵入し、沿岸の州郡をあますとこを殺害し、焼き尽くす。人民を殺す。屍体が山野を敷きおほす。倭寇が奪った穀物を船に運ぶの厚み、尺表をこぼれた米の厚み、尺表を女となり、山のようにならる。まらる」。

太祖は一三九五年に室町幕府四代將軍・足利義持へ向けて、使者を遣わした。日本幕府は西国大名衆に命じて倭寇の賊民を討ち、捕虜百名を朝鮮本国に送還させた。朝鮮を楯に、大蔵経文や銅鍾等を先進文物の贈与を求め、交易関係を画策した。

(二) 世宗の王位継承

李氏王朝の第三代国王太宗は病気がちで、王世子讓寧大君李禔(ドゥ)が、第三子・忠寧大君李禎(ドゥ)を二一歳で王位に就かせた。「片野 2012:187」。

その翌年一四一九年に五〇隻の倭寇は延平串を襲つて来た。世宗は兵船二七隻、將兵一万七千二百人の「己亥東征」で一二九隻の日本船を沈没させ、一三一人捕虜を救出して帰還させる快挙を成し遂げた。朝鮮が日本の領土に侵入したのは初めてだ。「片野 2012:36」。

それには高麗の崔茂宣が、
 硝製を二〇年かけて作っ
 た火薬と火砲の威力が功を成
 したという。世宗は一四三四
 年、北東地域から女真族を徹
 底的に追い出すために朝鮮式
 の新火器で討伐し、国外にまで
 兵を進め、「朝鮮八道」が確
 立されたのである。「片野
 二」世宗は仏教信者だが、
 立国に必要となれば整然と仏
 像類の銅を差し出し、一四四七
 年、朝鮮軍の火器による軍備
 が整ったという。
 世宗は「文引」制度で日
 本との交易を正常化させ、膨
 大な銅を日本から購入し、一四
 二一年から金属活字の製造を
 始めた。高麗時代(一三三二
 年)「新印詳古今礼文」の金
 属文字を改良し、一四三四年
 に「甲寅字」を完成し、「高
 麗史節要」を印刷したのであ
 る。

強精、滋養を増補した『新增
 郷薬集成方』を刊行し、一四
 四五年には民族医学と高揚を
 目指した『医方類聚』全三六
 五巻医学大全集を金属活字の
 印刷によって産声を上げてい
 た「片野 53」。

(三) 訓民正音の創製

訓民正音の冒頭に世宗は述
 べた「片野 157」。

「わが国の言葉は中国
 のそれとは異なり、漢
 字で書き表すことはでき
 ない。ゆえに、民がいき
 うとするものがあっても、
 その意を申し述べざる者
 多し。予はこれを遺憾に
 思ひ、新しくこれを遺憾に
 定し、人びとがたやすく
 学び、日常の便宜に立
 せようとする。」

漢字では、鶏の鳴き声のよ
 うな擬声音や動詞、形容詞の
 活用語尾、助詞などが、正確
 に表しきれない。世宗は新し
 い国字は従来からある漢字に
 囚われないこと、中国に範
 を求めて来た隷属的な歴史に
 終止符を打つ強い自尊心があ
 り、世宗は反対する保守派
 の口を封じさせ「諺文庁」を
 「正音庁」と改称して、新
 字創製事業を本格的に発進さ
 せた。「片野 148」。

二、制裁を受けながら
 成長する朝鮮

(一) 朝鮮戦争後から
 制裁を受ける

朝鮮が米欧諸国から制裁を
 受ける契機は一九五〇年の朝
 鮮戦争である。この戦争は一
 六カ国の国連部隊が九三万人
 動員され、未だに休戦状態の
 ままである。南北双方で三百
 万人以上の犠牲者を出し、一
 千万人の離散家族を産み、相
 互の憎しみや悲劇は萎えな
 七〇年を超えても深まる一
 である。「大沼 25」。

日本は一九五一年九月サ
 ンプランシスコ講和条約で安
 全保障条約を締結し、米軍基
 地を合法化させること、米軍
 大な特殊需要をもたらし、戦
 的価値を急上昇させて、六五
 年には日韓条約を結んだ。条約
 は、日韓請求権協定により三
 億ドルの無償供与と二億ドル
 の経済協力の貸付によって、
 国の財産、権利及び利益並に
 請求権に関する問題が完全
 かつ最終的に解決されたとし
 た。それは米・日・韓の経済
 ・軍事的包囲網を完成させ

の「氣」と「太極」、春夏秋
 冬の四象と八卦を相重ねて創
 製した文字で朝鮮の文化を発
 展させ、朝日両国は友好関係
 を深めたという「片野 149」。

(二) 社会主義圏の崩壊の
 影響

一九八九年、ソ連・東欧社
 会主義圏の崩壊は朝鮮に唯一
 の合法政府の地位と「核の傘」
 を失い、経済的には社会主義
 市場から得られたすべての物
 市場から得られたすべての物
 を調達する術を失った。そこ
 に度重なる自然災害で食料生
 産の減少、電力不足や鉄鋼・生
 重化学工業の衰退など「苦難
 の行軍」という試練を迎えた。
 金正日総書記は憲法を改正
 し、経済の回復と難局の打開
 に努めたが、米欧諸国は朝鮮
 の崩壊するのを期待した「磯
 崎 2010... 127」。

朝鮮は抑止力が核兵器の
 所有と考え、重工業重視と国
 民生活の向上のために経済改
 革を行いつつ、外交も大きく
 舵を切り替えた。二〇〇〇
 年には金大中大統領との首脳
 会談を実現し、南北関係は改
 善させ、中露との関係改善、E
 U諸国とも国交を樹立してい
 った。

せ、朝鮮はソ連と中国の狭間
 の中で、経済建設よりも国防
 建設を優先させる自主自立路
 線を維持せざるしか道はなか
 った。

総書記は二〇〇〇年「経
 済改革措置」、二〇〇二年「経
 済管理改善措置」を行い、経
 済の実利最大化を追求するこ

とを主軸に、生産性とモチベ
ーションを向上させ世国営企業
のリストや農民市場を拡張
して、経済領域を活性拡大さ
せた【三村 2017:130】。

それは特権を基盤とした
独占を崩壊させ、限定的でも
自由な企業活動を許し創意工
夫や営業努力をした企業や個
人が大きな利益を得る構図が
生んだ半面、貧富の格差拡大
が拜金主義や不正腐敗、国営
部門からの人材の流出など多
くの副作用がみられた。二〇
〇六年には国営企業の評価基
準である「稼ぎ高指標」から
生活費を原価の中に入れる
「純所得指標」に変更し、勤
労者の労働意欲を引き出すこ
とに成功してマイナス成長か
ら回復した【三村 2017:130】。

二〇〇九年には、デノメー
ション(貨幣単位の切り下げ)
を実施したが、国家による食
料や消費財の供給が伴わず、
国民生活に大きな混乱を与え
た。翌年、交換措置はうまく
いかなかったが、市場は再開
し外貨使用も使用され、市場
の価格が取引の標準となり、
経済活動に大きな影響を与え
たのである【磯崎 2010】。

ル(人口一人当たり一三三九
ドル)として「飢える国」で
はなくなっている【飯村
2023:267】。

(三) 金正恩國務委員長の一
二年

二〇一一年一二月、金正日
総書記の逝去で金正恩國務委
員長に受け継がれた。金正恩
委員長は人民生活の問題をあ
またの国事の中の「第一国事」
として、農業、畜産、水産部
門を三本柱とし、人民の食の
問題を解決することを強調し
て「民意」を重要なポイント
として、「人民のためにより
多くの仕事」をするとしてい
る。

金委員長は先代の指導者
が成し遂げなかった米朝首脳
会談をドナルド・トランプ大
統領と二〇一八年から三回、
停戦協定の解除や核実験問
題、制裁について協議したが、
実践までには至らなかった。
二一年にトランプからバイデ
ンに代わり「グランドバード
ン」から「慎重で調整された
現実的アプローチ」に変更し、
膠着状態が現在まで続いてい
る。

たびに国連から制裁を受けて
きた【井上 2023:11】。しかし
これは、三つの限界がある
ことは「存じだろうか」。

一つは、朝鮮が大量殺傷
兵器を開発できないよう、貿
易と金融取引を制限している
が、民生と関連した貿易と金
融取引は許されている。

二つ目は、中国の独自の
な制裁で石炭の輸入制限があ
るが、緩衝地帯論が存在し、
朝鮮を極端に追い込めない事
情がある。一五〇〇キロにお
たる国境地帯に米軍が来るの
は中国側にとっても困るの
で、貿易高の七〇から四〇%
以上が石炭の輸出であり、軽
工業と農業の機械化への集中
投資を行うのに黙認してい
る。

三つ目は、朝鮮の経済が
長年の国際的制裁の中で、中
国産の工業産品を国内産に変
えて、自立経済構造が確立し
つつあることである。二〇一
六年の二二二〇号の制裁は、
年間四億ドル又は七五〇万ト
ン未満の取引を許可してい
る。

朝鮮は三五年ぶりに開催
した、二〇一六年の第七回党
大会で、「国家経済開発五ヶ
年戦略」を決定し、二〇二一
年の第八回党大会では初めて
目標未達成を認めて、新たに
「経済発展五カ年計画」「国
防科学発展及び武器体系開発

五カ年計画」が策定された【宮
本 2023:31】。

朝鮮では工業と農業部門
で「社会主義企業管理責任
制」、農業で「圃田担当責任
制」が導入され成長が著しい
【三村 2018:188】。また新型
コロナウイルスの死亡者を五
〇人と発表して、二二年八月
「撲滅」したとして「勝利」
を宣言した【平井 2010】。

今年の大統領選挙は
金正恩委員長がロシアのプー
チン大統領の招聘により九月
にロシアを訪問し、世界が注
目するおもてなしを受けたこ
とである。ウクライナへの侵
攻で、ロシアの「孤立感」が
強まっている折の訪問であ
る。

新型コロナウイルス外交
解禁の初めに、金委員長は極
東アムール州宇宙基地でプー
チン大統領と会談した。外国
首脳をよく待たせる「遅刻魔」
で知られるプーチン大統領が
三〇分前に到着して、満面の
笑顔で出迎えた。金委員長は
「朝露関係を最大重視」して、
「安定的で未来志向的な新し
い朝露関係の百年大計を構築
する新たな転換局面を開き」
幅広い分野での合意を見たど
している。

プーチン大統領はロシア
メディアに対し、会談は生産
的だったとして、「ロシアは
自給自足の国だが、現行のル

「ルの枠内での可能性がある」として、安保理の常任理事国として国連決議による経済制裁の「できることがあれば実行していく」と自信満々である。韓国情報部は朝鮮がロシアに100万発の砲弾を提供し、ロシアからは軍事衛星の技術指導が行われたとの報道を流している。ロシア側は食糧支援を問いただしたが朝鮮側は「今年は豊作だった」として断ったという。朝鮮は二〇一三年から、並進路線の宣言以降、八回党大会を境に自力更生や自給自足に拍車をかけて大きく改善させていることがうかがえる。

朝鮮は一九九〇年代核実験を行ったとき、中国、ロシアが制裁に加わっていた時とは違い、その関係は最も良好だ。「ハンギョレ新聞」2023.10.09「ロシアは四月にトウモロコシ二八〇〇ト、七月に小麦粉三八三三ト、石油一万九三三バレルが朝鮮に輸出されたとしている。」週刊金曜日2023.9.22-311

金委員長は訪露は米中露の三角関係に大きな衝撃を与え、米国の中国に近づき、中国はロシアとの連帯をちらつかし、米国の揺さぶる「独立変数」となっている。「ハンギョレ新聞」2023.9.27:「ウクライナ戦争で毎日一

く三万発を撃ち続けているロシアは喉から手が出る程、銃弾、榴弾は欲しいであろう。ただ数十年間、米欧諸国から制裁を受けている朝鮮の立場から見ると、「できることがあれば実行する」だけである。武器輸出は国連制裁の項目であるが、人員の派遣すなわち労働者の派遣は違法ではないのだ。戦争の前線迄、九〇〇kmもあり鉄道輸送に七日間もかかるとしても、長期化する戦争での勝利のためならロシアはどうするだろうか。

やいばり

六百年の時を飛び越えて日朝両国を見ると内政が安定しているとお互い良い関係で輻輳が起きている。来年は米国大統領選挙が行われ、トランプ大統領が登壇する可能性が高まっている。第九回党大会が行われる二〇二六年に朝米、朝日関係はどのような動きを見せるだろうか注目である。

日本はストックホルム会談以来何ら進展がないまま、独自制裁を強化している。朝鮮は一六五カ国と国交を結び貿易もしている。日本の独自の裁は、朝鮮との交易と経済的人的つながりを制限して

いるが、「嫌がらせ」以上の意味はなく、唯一「困らせる」ことができるのは、帰国者の親族や人道支援をしてきた日本市民団体だけである。「江口2017:177」。この人たちはどれだけ困らせても拉致問題を進展には何のプラスにもならない。

問題は在日朝鮮人が、日本の市民社会から切り離され、戦前の「外地人」と同様の曖昧な法的地位におかれ、いまなお「包摂」と「排除」の二重差別のはざまに立たせられた形でしか参画させないという「大沼2018:248」。拉致問題の解決を図り朝鮮へのシグナルを送ろうとすれば、少しでも在日朝鮮人の処遇改善することが解決に繋がらざるを得ない。

- 【参考文献】
- ・磯崎敦仁・澤田克己『北朝鮮入門』東洋経済新聞社二〇一〇年
- ・井上智太郎『金正恩の核兵器』北朝鮮のミサイル戦略と日本』ちくま新書二〇二二

- ・飯村友紀「北朝鮮経済における「連続と断絶」西野純也編著『激動の朝鮮半島を読みとく』慶應義塾大学東アジア研究所二〇二二
- ・平井久志「金正恩政権の権力構造の変遷」西野純也前掲書
- ・江口昌樹『拉致問題を越えて平和的解決への提言』拉致人権・国際社会』社会評論社二〇一七
- ・大沼久夫『朝鮮戦争と日本』現代書館、二〇一八
- ・河合正弘編著『北東アジアの経済成長』三村光弘「北朝鮮経済」日本評論社二〇一八
- ・片野次雄『徳川吉宗と朝鮮通信使』新光社一九九六
- ・世宗大王の코리아史一ハングル創製と李朝文化』彩流社二〇一二
- ・金スロン『世宗、ハングルで世の中を変える』クオン二〇二二
- ・三村光弘『現代朝鮮経済挫折と再生への歩み』日本評論社二〇一七
- ・宮本悟「金正恩時代の二〇一〇年一対外政策の回顧」『JUP』東京大学出版会二〇二二(二〇二三年一月一〇日)

もっと知りたい！もっと交流を！

いま面白い市民運動の情報誌

地元

グループ紙誌 打撃見

○鶴舞公園内での宣伝・署名活動妨害事件／名古屋市が対応の誤り認める／伊藤勤也

●なごや市職

ほか

(第二三九四号) 二〇二三年十一月十一日 発行 名古屋市中区三の丸
市職員労働組合／名古屋市中

●名古屋三菱・朝鮮女子

勤労挺身隊訴訟を支援する会 News (第八五号) 二〇二三・十一 発行 同会

○(二〇二三年総会) 記念講演／戸塚悦朗氏 『韓半島植民地支配の不法性を考える』

○強制動員問題の解決に向けての外務省要請

○「おもふ」 特殊詐欺に加担する若者の増加／篠原宏一

●ホウネットニュース

(二〇二三・十一・十四) 発行 弁護士法人・名古屋北法律事務所／名古屋北区

○わたしと生活保護／児童係からケースワーカーの現場へ、約半世紀の視点と残された課題／佐々木秀之

○秋は学習活動の季節／要求実現のためには興味を持つことが大事

○庁舎が同じになってから顔を合わせる機会が増えたね／3支部合同青年交流会

○自治労連共済／初めて共済キャンペーン

●愛労連

(第三六三号) 二〇二三・十 発行 愛知県労働組合総連合／名古屋熱田区

○物価高に負けない賃上げを／秋季年末闘争山場／仲間増やして要求実現しよう

○正規も非正規もすべての労働者の賃上げを／二〇二三秋

○東海市(豊田製鋼・愛知トマト・三菱重工知多工場につぐ) 4番目の軍需工場「雀印織布合名会社」／アチ航空の下請け工場、魚雷の部品工場

○戦時中の富木島／近藤清雄

●明日へ

(第十号) 二〇二三・十・三 発行 東海市の戦争を記録する会／東海市富木島町

○空襲の「証人」防空壕を守れ(大府・大倉公園)

○朴美順さん ありがとう／金順愛、松井和子

○「オピニオン」 政府は米国の顔色見ず直ちにイスラエルに停戦求めよ

○「オピニオン」 政府は米国の顔色見ず直ちにイスラエルに停戦求めよ

●ポラム

(第一四三号) 二〇二三・十一・八 発行 岐阜朝鮮初中級学校の子どもたちを支援するポラムの会／岐阜市長良

○「教室から」 クイズ王決定戦／金竜煥

○「教室から」 クイズ王決定戦／金竜煥

○「教室から」 クイズ王決定戦／金竜煥

●瀬戸地下軍需工場跡を保存する会会報

(第二七八号) 二〇二三・十一・十五 発行 同会／瀬戸市

○聖霊中学生地下工場跡見学

○日本海軍発祥の地は戦跡の宝庫だった／第二六回戦争遺跡保存全国シンポ・横須賀おっぱま大会

○愛知県が『戦争遺跡』を調査へ

●革新・愛知の会

(第三四二号) 二〇二三・十一・十 発行 平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会／名古屋熱田区

○「インタビュー」 紙野健二さん／不当判決には屈しない！／沖繩に連帯し、運動を広げよう！／司法は真剣な審議と公正な判断を

○政治をかえよう！／「市民と野党の共闘」の再構築で

○「近ごろ思うこと」 パレスチナ問題の根源にあるもの／金城美幸さん

●平和新聞・愛知版

ほか

(二〇二二・三・十一・十五 編集) 愛知県平和委員会 / 名古屋市東区

○県営空港を戦争拠点にするな! / 小牧平和県民集会

○ガザでの虐殺やめよ! 緊急学習会

○非核・平和の願いを実現する要請行動 / 住民本位の自治体行政を求める / 愛知県と名古屋市に

●草の根

ほか

(二〇二二・三・十一・六 発行) 原水爆禁止愛知県協議会 / 名古屋市東区

○『あなたの声が力になる』日本も条約参加を / 国連軍縮週間宣伝

○日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名 / 県内一〇三、〇八四筆 (二〇二二・三・十三 現在)

○豊橋で聞き取りプロジェクト / 『原爆は一番いかん』

ほか

●半田・戦争を記録する会通信

(No.九四) 二〇二二・三・十一・一 発行 / 同会 / 半田市

○夏雲に届けとサイレン空襲忌

○雁宿の丘に平和祈念碑を訪ねる / 蜷川美登里

○知多半島の戦跡めぐり / 高校生に同行して / 竹内宏一

●日中友好新聞・愛知県連版 (二〇二二・三・十一・一日 発行) 日中友好協会愛知県連 / 名古屋市千種区

○第十四回「中国百科検定」

○「中国ものしりコーナー」

四大名繡 / 蘇州の「蘇繡」、広州の「粵繡」、湖南の「湘繡」、四川の「蜀繡」、

○第四七回愛知きりえ展

ほか

日朝協会

【群馬版】二〇二二・三・十一・一

○朝鮮蔑視感の形成 / 『文明と野蛮』 / 日清戦争で決定的に

○「核のゴミ」最終処分場・その後 / 新井忠夫

○森達也監督・映画「福田村事件」を観て / 小山時子

ほか

【大阪版】二〇二二・三・十一・十

○日韓、武器輸出で軍需産業に巨利?!

○にっこりおおさかフィールドワーク / 詩人・尹東柱の歌碑 (叡山電鉄) / 京都芸大前

○「十月のコリア問題講座」 / 国が初めて分析・朝鮮人殺傷事件 (映像)

ほか

〈事務局から〉

★日頃のご協力に心から感謝します。

年末財政につきご協力お願いします。

◆会費 (日本と朝鮮の本版会費を含まず) 11年・六〇〇〇円

◆「日本と朝鮮」愛知版購読費 11年・三〇〇〇円

※一律に郵便振替用紙を送付させていただきます。

日朝協会愛知県連合会・事務局

ご投稿のおすすめ

★月刊『日本と朝鮮(愛知版)』は、日・韓・朝の市民が往き来する、紙上交差点をめざします。内容は、身近な話題、証言、時評、書評、資料等の紹介、提案・意見など。長・短はかまいません。

★取材を依頼される場合はその旨お伝え下さい。

★締め切りは、毎月20日です。Eメール歓迎。

★送配布先についても、ご紹介下されば、幸いです。

★送配布先についても、ご紹介下されば、幸いです。

★送配布先についても、ご紹介下されば、幸いです。

【表紙】三浦雅子